

令和 8 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 13			学校名		茨城県立大子特別支援学校								学校長名		江幡 覚				
副校長名						教頭名		小林 秀子					事務（室）長名		武石 恵子					
教職員数	教 諭	20	養 護 教 諭	1	常 勤 講 師	4	非常勤 講 師	1	実 習 助 手		寄 宿 舎 指 導 員		事務職員	2	技 術 職員等	12	計	43		
幼児・ 児童・ 生徒数	部		1 年（3 歳児）		2 年（4 歳児）		3 年（5 歳児）		4 年		5 年		6 年		小計		合計	合計 学級数		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	幼稚部								—	—	—	—	—	—						
	小学部		3	0	2	2	3	0	1	1	2	2	2	1	13	6	19	7		
	中学部		2	2	5	0	5	2	—	—	—	—	—	—	12	4	16	5		
	高等部								—	—	—	—	—	—						
	専攻科						—	—	—	—	—	—	—	—						
																25	10	35	12	

2 目指す学校像

「持続可能で、選ばれる、地域とともにある学校」

- ◆持続可能で・・・安全・安心な環境を確保し、災害や社会の変化に柔軟に対応できる力を育む学校
- ◆選ばれる・・・地域の特別支援教育の中核として、質が高く魅力のある教育環境を提供し続ける学校
- ◆地域とともにある学校・・・コミュニティスクールを活用し、地域づくりと学校づくりをともに進める学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・学校運営協議会の人材を生かし、児童生徒の学びにつながる地域資源について助言を得るとともに、それらを教育活動に生かすための準備を進める必要がある。 ・施設設備の安全点検や必要な改修を計画的に進めるとともに、避難訓練や安全教育の内容を実態に応じて見直し、安心して学べる教育環境の整備を進める必要がある。 ・働き方改革の一環として、定時退勤日の定着や業務改善の方策を検討し、教職員が授業準備や児童生徒支援に充てる時間を確保していく必要がある。 ・定期的な服務規律や不祥事防止に関する周知・啓発を継続し、教職員の規範意識の向上を図っていくことが大切である。	・防災教育「もし活」の充実に向け、学校運営協議会委員相互の連携や学校間の協力体制を再構築するとともに、地域資源の情報も併せて収集し、特色ある学習活動の充実を図る。 ・危機管理マニュアルの再確認を行い、災害・事故等への対応力を高める。 ・AI の効果的な活用を進め、校務の効率化や事務作業の軽減を図る中で、教職員が授業準備や児童生徒支援に充てる時間を確保する。 ・コンプライアンスに関する情報を継続的に周知し、教職員の規範意識の定着を図る。
学習指導	・児童生徒の実態や興味・関心を的確に把握し、教職員が共通理解のもと連携して学習指導を進める必要がある。特別支援学校チャレンジ 2025 では、防災教育「もし活」を学校運営協議会委員の協力を得ながら推進してきた。 ・今後は、その成果を生かし、児童生徒の主体性をさらに育む活動内容の充実と、教師の問いから始まり子どもが夢中になる授業への転換を図るとともに、保護者や地域への積極的な情報発信を進めていく必要がある。	・児童生徒が「やってみよう」と思える問いかけや、「できた」と実感できる場面づくりの必要性を踏まえ、一人一人の実態に応じた指導・支援を意識し、分かる・できる授業づくりを進める必要がある。

4 中期的目標

1 「学びがい」の推進 ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学びの充実を図るとともに、地域資源や体験活動を生かした教科等横断的な教育課程を進め、AI・ICT の効果的な活用と業務改善により、学びの質の向上を目指す。 2 「働きがい」の推進 ・生徒支援を組織的に推進するとともに、服務規律の確保と規範意識の高揚を図り、安心して働き、互いに支え合える職場づくりを推進する。
--

3 「頼りがい」の推進	・防災教育「もし活」の充実と学校危機に対応できる安全・安心な環境整備を進めるとともに、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮し、専門性を生かした支援の充実と地域から信頼される学校づくりを推進する。
4 「生きがい」の推進	・健康で豊かな生活を送るための生涯スポーツ及び文化・芸術活動の充実を図るとともに、家庭・地域・PTA と連携し、防災教育「もし活」の普及を進め、豊かに生きる力を育成する。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
1 「学びがい」の推進	①個に応じた学びの実現 ②体験と教科が関連づいた、教科等横断的で学びやすいカリキュラムの実現 ③業務改善を進め、AI・ICT の効果的な活用の推進（働き方改革）
2 「働きがい」の推進	①組織的・継続的な支援体制のもと、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を徹底するとともに、不登校児童生徒への切れ目のない支援の充実を図る ②地域社会と関わる学びを通して、豊かな心を育むとともに、自立と社会参加に必要な力の育成 ③服務規律の確保と規範意識の高揚（コンプライアンス確保）
3 「頼りがい」の推進	①学校危機に対応できる環境整備と「もし活」（防災教育）の充実 ②地域における特別支援教育のセンター的機能の発揮 ③健康・安全な生活を支える保健・給食指導の充実
4 「生きがい」の推進	①健康で豊かな生活を送るための生涯スポーツの推進 ②生活の質の向上と余暇の充実につながる文化・芸術活動の充実 ③PTA の理解のもと、防災教育（もし活）の推進と家庭・地域への普及